

百人一步通信

第21号

2024年(令和6年)
7月



【発行】 今井和夫とともに歩む「百人一步の会」
【代表】 今井和夫(宍粟市市議会議員)
〒671-3211 兵庫県宍粟市千種町岩野辺 1065
☎090-9610-2511 ✉ tamago@imaifarm.jp

～「一人の百歩より百人の一步」の社会を作ろう～

先日、梅雨入りしたばかりと思うのですが、梅雨末期の大雨ですね。なんとか、災害が起こらないことを祈るばかりです。暑かったり、湿気でジメジメしたりで体調維持が大変ですが、今からの夏を養生して乗り切りましょう。

ミニ集会をしていただきました

前号(20号)のあと、いろんな方からご意見をいただきました。「一度、村の有志の者で集まるから話を聞きたい」そう言っていただき、村の公民館にも行かせていただきました。(写真右)みんな、思いは同じです。『このままでは農地は荒れてしまう。いづれ村はなくなってしまう～。』そこで、今までの農村の流れ。コメ代の話。外国の補助金の話。等々をさせていただき、意見交換させていただきました。そして、「若者がコメ作りで生活できるようになるには、国からしっかり補助金を出してもらえないかな。国の農政が変わるしかない。荒れる農地は公的管理しか方法はないのでは」等の意見。私は、「皆さん、高齢者ではありますが、あと10年頑張りましょう～。農地の耕作もだけど、声を上げることも頑張りましょう～」と言うと、「あちこちでこのようなミニ集会をしてもらい、そこに集まる人たちが一緒に集まって声を上げようではないか～」そんな声も返ってきました。



波賀町安賀自治会有志の皆さんと農業の話をしていただきました

「10kg6,000円、そんな高いコメ買えるか!!」

前号に「当面、適正価格(10kg6,000円?)で買ってもらって支障してもらい、その間に国からの補助金制度を作ってもらおうように動こう」と書いたことに対して、別の所から「『そんな高いコメ買えるか』という人がいるよ」と声をいただきました。もちろん、それは当然です。何せ、今は一般的に30kg8,000円くらいで手に入りますから。でも、それがどのような価格かご理解されているでしょうか。私は、コメは自家用一反しか作ってませんが、知り合いの北部で3haくらい作られている方数軒に聞いておおよそで作ったのが左下の表です。

つまり、人件費なしでもすでに赤字の価格です。つまり、「ただ働き」が前提の価格なのです。

まず、真っ当な生産原価を宣言することが第一歩かも

この収入で後継者を作れと言うのが全くナンセンスですね。コメ作りは、機械化や除草剤等が進んで、兼業農家でできるようになったので、価格はどんどん下がりました。ところが、その兼業の町工場や土建業、公務員等が激減。結果、今はほとんどが年金農業者。そして、年金農業者がリタイアすれば終わり。でも、今からその兼業を復活させるのは無理だし、また、ただ働きをしてでも農地を守る、そんな意識もなくなっています。

となれば、答えは1つですね。若者が暮らしていけるコメ代に値上げするか、その分の補助金システムをしっかり作るかしかないのです。「大規模化、ブランド化、スマート農業化」ではないんです。

若者が仕事にできる価格を表明するのは生産現場の責任

「できないことはできない」とハッキリ言って、「子どもに帰ってこいと言えぬ価格はコレだ!!」と表明するのは、現場の責任ではないかと思えます。都会の人には分かりません。後継者作りのそれが第一歩ではないでしょうか。

ミニ集会、どこでも行きます。声をかけてください

関心のある皆様、二人でも三人でも結構です。声をかけてください。そこから順に、小さな声を徐々に大きな声にしていきましょう～。

宍粟北部で、一軒で3haを耕作 30kg8,000円で売ったときの経営状況								
収入	コメの売上	平均反収(30kg袋)	耕作面積(反)	販売価格/30kg	売上高/10a	売上高計		
		14	30	8,000	112,000	3,360,000		
補助金	中山間地直接支払	反当り	耕作面積(反)	計	(2.1万円/反の半分を個人配分とする)			
		10,500	30	315,000				
収入合計		3,675,000	反当り収入		122,500			
支出	資材	苗	単価	/10a	/3ha	13箱/反 機械修理、 オイル交換		
		肥料	900	11,700	351,000			
		農薬		20,000	600,000			
		消耗品		8,000	240,000			
		修繕費		6,000	180,000			
		光熱・燃料費		5,500	165,000			
		軽トラック車検	100,000	9,000	270,000			
		固定資産税等		100,000	50,000			
		合計		60,200	1,906,000			
		機械	トラクター	単価	法定耐用年数		減価償却/年	
				3,000,000	7		428,571	
			田植え機	1,400,000	7		200,000	
			コンバイン	3,000,000	7		428,571	
乾燥機類	1,800,000		7	257,143				
石取り機	500,000		7	71,429				
籾すり機	600,000		7	85,714				
米選機	300,000		7	42,857				
低温貯蔵庫2台	1,500,000		7	214,286				
畦塗り機	740,000		7	105,714				
ウイングハロー	500,000		7	71,429				
軽トラック	1,000,000	4	250,000					
合計	14,340,000		2,155,714					
支出合計		4,061,714						
収支差引		-386,714	(人件費なしでもすでに赤字)					

30kg14,635円(農家手取り)コレが中山間地での持続可能な本当に必要なコメ価格です

宍粟北部で、一軒で3haを耕作 4～11月月給30万円もらうときのコメ価格						
収入	コメの売上	平均反収(30kg袋)	耕作面積(反)	販売価/30kg	売上高/10a	売上高計
		14	30	14,635	204,890	6,146,700
補助金	中山間地直接支払	反当り	耕作面積(反)	計	(2.1万円/反の半分を個人配分とする)	
		10,500	30	315,000		
収入合計		6,461,700	反当り収入		215,390	
支出	資材				1,906,000	
	機械				2,155,714	
人件費		4～11月分	月当り	労働月数	計	
			300,000	8	2,400,000	
支出合計		6,461,714				
収支差引		-14				



今、農水省は「コメの生産原価は30kg7500円」と平気で言います。それに対して『違う!!』としっかり言わなければ、そのためには、まず、このようなデータをそろえることが大事だと思います。

※ これは倉庫は固定資産税以外、全く考慮していない
※ 資材・機械 等は一例です。農家によって違いますのでご留意ください。

※ 12月～3月は別の仕事をするものとする

